

Ls+HFR

Properis

大ひずみ下高周波粘弾性測定装置

のご紹介

Ls+HFRは、

低周波の大変形を加えながら、超音波による粘弾性測定ができます。

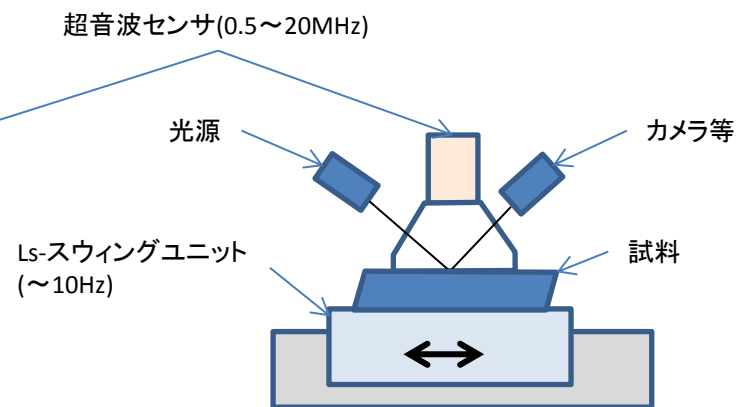
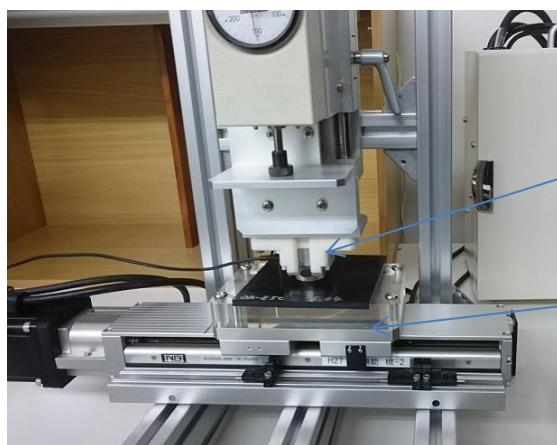
これまでは出来なかった大ひずみ下のメガヘルツ粘弾性が測定できるので、

タイヤなどの摩擦力が掛った状態での非線形な粘弾性特性を把握できると期待されます。

バルク物性だけでなく、表面のメガヘルツ粘弾性が測定できます。

特許取得済

超音波測定と同時に光学観察も可能です。



Ls+HFR002型 高周波粘弾性評価装置

Properis

標準仕様

- ・測定周波数: 0.5~20MHz
 - * 複数センサが必要です。測定試料によって測定帯域は変わります
- ・試料 : 固体、懸濁液、液体 (それぞれにアタッチメントがあります)
- ・試料サイズ:
 - 平面サイズ50x50mm以上
 - 厚さ1~10mm程度(測定試料及び測定帯域によって変わります)
 - * 固体では平行度と厚さ精度が測定精度に影響しますのでご相談ください
- ・Ls-スウィングユニットサイズ WDH:505X310X570mm
- ・HFR002コントローラサイズ WDH:450X650X600mm
 - * 高精度測定には恒温槽が必要です。(内寸WDH:600x700x900mm以上)
- ・重量: 65kg
- ・電源: 100V 1000w D種接地

開発製造販売 HFVE

高周波粘弾性株式会社

Highfrequency Viscoelasticity Corporation

本社

横浜ラボ

〒224-0007 神奈川県横浜市都筑区荏田南3丁目1-21-102

<http://www.highfrequency-viscoelasticity.com>

info@highfrequency-viscoelasticity.com

仕様は改良のためお断りなく改定される事が有りますので、ご利用の際にはご連絡ください。

2016.12.16

All right reserved by Highfrequency Viscoelasticity Corporation

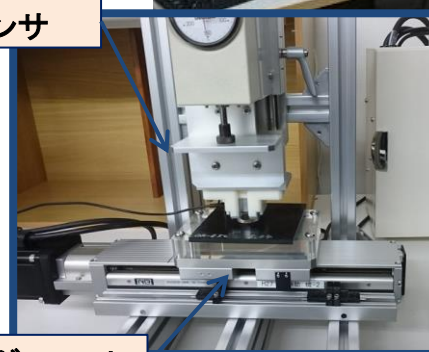
高周波粘弾性株式会社

装置全景

タッチパネルディスプレイ



超音波センサ



Ls-スウィングユニット

HFR002コントローラ